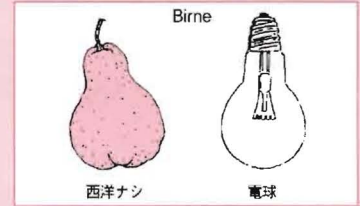


レストラン・アクセスへようこそ!

ドイツ語を学ぶのはドイツ語で何かを伝えたいから——
このような素直な学習者の願いのために、独和辞典は何ができるのでしょうか。

発信のための材料〈語彙〉～着実に自分の物に～

たとえば、Birneという語をただ知っていて、それを「西洋ナシ」という語に置き換えるだけでは、実質的なことばの勉強になっていません。「Birne」つまり、「西洋ナシ」とは何かを実際に知ってこそ、この語を理解したと言えるのです。もちろん常に具体的な体験を伴う学習は難しいですが、できるだけ真の体験に近いものを提供すべきだと考えます。



シェフのこだわり ● 単語に補足説明を加えたり、写真やイラストなどの視覚的手段を用いて、ことばの実体に迫る努力をしています。さらに「**絵で見るドイツ語**」「**ジェスチャー**」などのコーナーを設けました。

★ **新アクセス独和辞典はドイツ語の「実体」に迫ります。**

シェフのこだわり ● 重要な単語には「関連語」「複合語」などのコーナーを設け、辞書を引く度に関連する語彙に触れられるよう工夫しました。和独の部でも同様です。

★ **新アクセス独和辞典には学習効果を高める工夫がちりばめられています。**

発信のためのレシピ〈文法〉～しっかりとことばの仕組みを～

すでに多くの先生方が強調しているように、文法とは本来便利で、効率的で、とても親切なもの(!)のはずです(そうでなければ、私たちは何万もの例文をただ暗記するしかなくなってしまいます)。

シェフのこだわり ● 「**発音と綴り**」「**文法**」のコーナーを設け、コンパクトながらもしっかりと学べるようにしました。また、学習中にいつでも確認できるよう、各種の「**変化表**」を巻末にまとめました。これらが「**和独**」「**場面別会話**」「**手紙などの書き方**」とリンクしながら、ドイツ語学習を総合的にサポートしていきます。

★ **新アクセス独和辞典は総合学習辞典です。**

発信のためのかくし味〈文化についての知識〉～少しずつ、楽しみながら～

ドイツ語の文化的背景——この「ディテール」の理解はドイツ語の運用能力に深みを与える大切な鍵です。たとえば、2006年にはドイツでサッカーのW杯が開催されますが、ドイツにはSparwasser-Torとして語り継がれるゴールがあります。これは1974年の西ドイツ大会で、西ドイツに対し東ドイツのシュパールヴァッサーが決めた決勝ゴールのことです。言うまでもなく、東西ドイツ分裂という歴史的な背景を知っていることでこの語の理解もさらに深まるはずです。

シェフのこだわり ● 「**ドイツ語圏の情報**」ではドイツの文化・歴史・社会などについての情報をコンパクトにまとめました。「**ドイツサッカーにアクセス**」は現在では欠かせないドイツサッカーのコーナーです。

★ **新アクセス独和辞典は表現の背後にある「ディテール」への入り口です。**